

このまちの100年

「甲府」

甲府は戦国時代に武田氏が整備した城下町から発展。江戸中期以降は幕府の直轄地として江戸の『西の守り』を担いました。甲府盆地では明治期に養蚕が盛んになったのち果樹栽培へ転換されて現在に至っています。



大正期

明治10年竣工の初代山梨県庁舎。昭和初期まで使用されていた



大正期

甲府市常盤通り。建物は明治期の銀行建築



大正15年頃

甲府駅二代目駅舎は大正14年に誕生した



昭和5年頃

甲府城址から南方向の市街地を望む。右奥の白い建物が甲府警察署



昭和5年頃

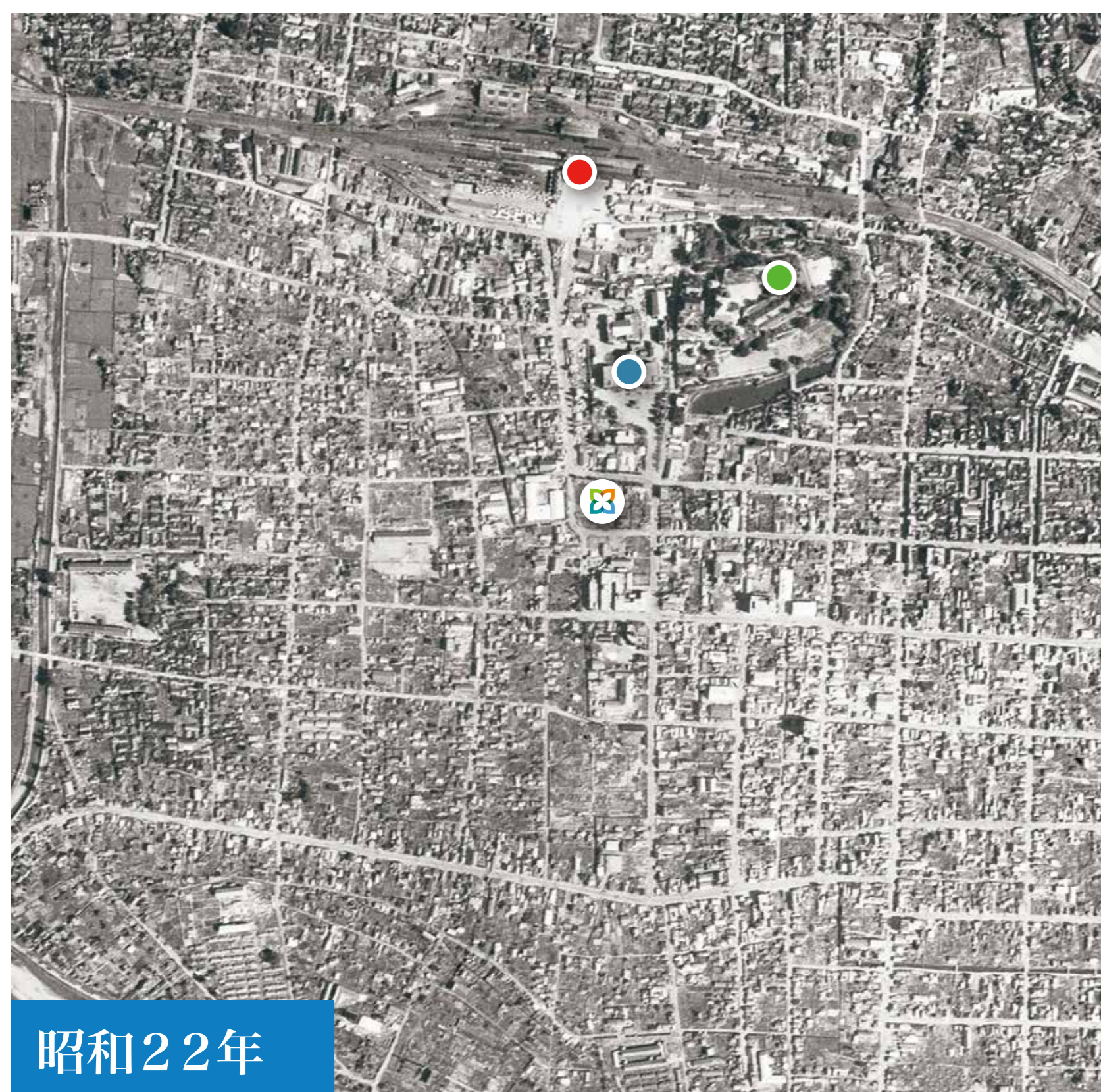
左の建物は大正15年築の甲府商工会議所。現在は甲府法人会館で、県内最古の現存するRC造ビル



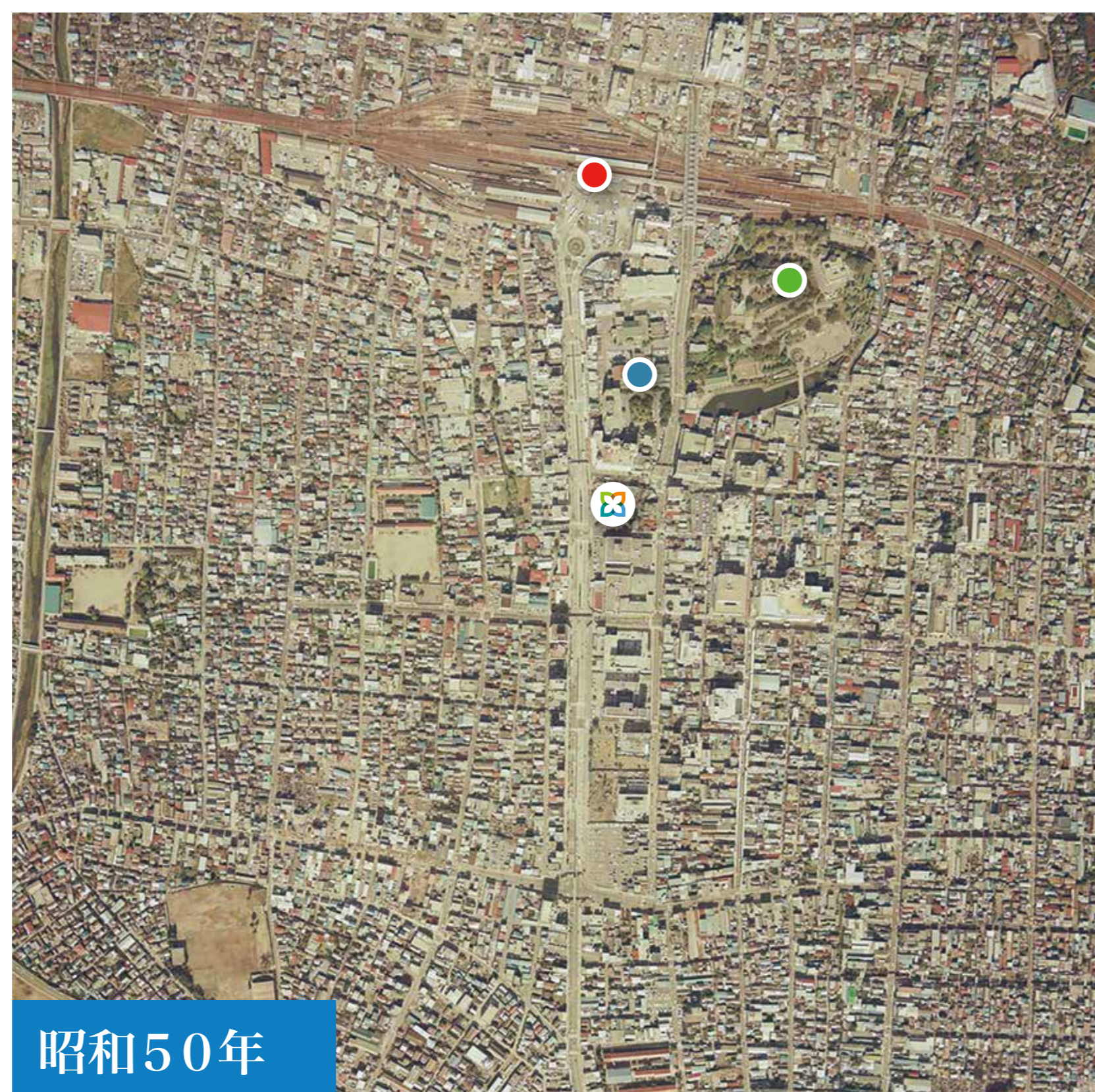
昭和40年頃

昭和38年開店の山交百貨店。屋上には小規模な遊園地があった

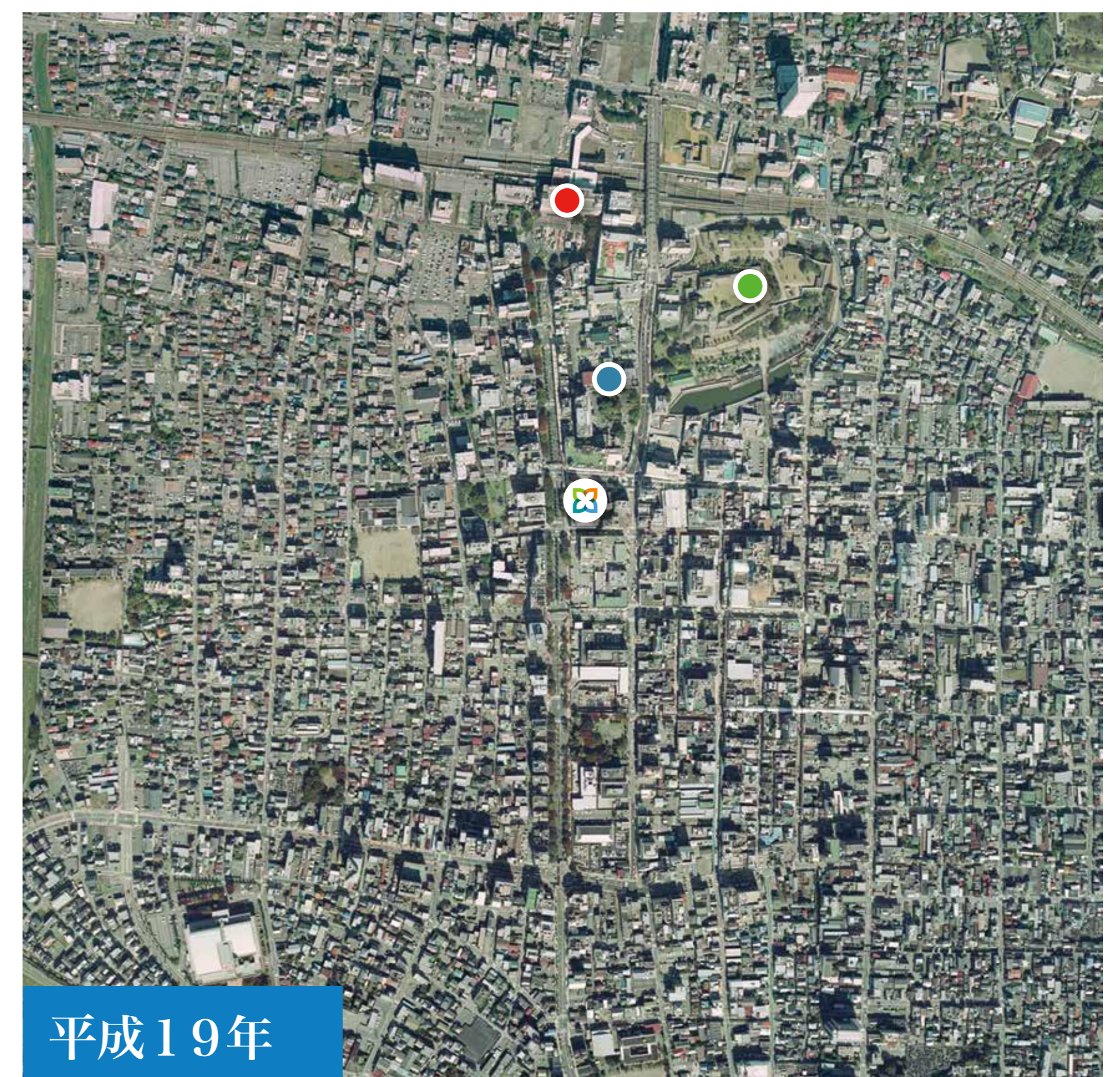
上空からみた甲府エリア



昭和22年



昭和50年



平成19年

: 現在地
 : 山梨県庁 : 甲府城址 : 甲府駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロマチ